

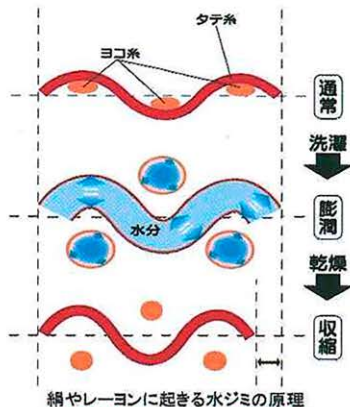


絹やレーヨンなどが 水に濡れると縮む理由

絹やレーヨン製品は、とても水を吸収しやすく、雨や汗に濡れただけで縮んでしまうことがあります。なぜでしょう。

◎水を吸い込んでふくれてしまった分縮む。

絹や綿、レーヨンなどの植物を原料とする繊維（レーヨンは木材パルプ）は、とてもよく水分を吸収するため、夏の素材としても快適なものです。しかし、水分を吸い込むことによって、繊維が太くなり、太くなった分だけ縮んでしまいます。これを専門用語で膨潤収縮といいます。この収縮は、プレス作業によって回復することができますが、デザインや生地構造によってはユガミになり、完全に復元できないこともあります。



絹やレーヨンに起きる水ジミの原理



◎光沢のある絹やレーヨン生地は水ジミも起きやすい。

飲料水や雨水が、光沢のある絹やレーヨン生地に付いただけで、シミになってしまうことがあります。これも、膨潤収縮の原理によります。